

「第2回 公民館パワーアップ講座」

平成29年9月11日(月) 青森県総合社会教育センター 第1研修室
受講者18名

平成29年9月11日(月)に、地域コミュニティの拠点としての公民館を活性化させるために、必要な知識及び技術を習得することをねらいとし、「第2回 公民館パワーアップ講座」を実施しました。公民館職員や市町村教育委員会職員を中心に県内各地より18名が参加しました。

今回は、特に「ファシリテーション能力を高めよう」と題し、いくつかの技法を使いながら、実際に「公民館について考える」演習を行いました。

受講者は「実際に『公民館の情報交換をする』ために話し合いをする」側として参加しながら、「使われているファシリテーションの技法についての解説を聞く」という流れで演習が進みました。

1. アイスブレイク…「9マス紹介」

演習の最初に「9マス紹介」を使い、班の中で自己紹介をしながら、親睦を深めました。用紙にある9マスの中に予めある課題は、名前や所属の他に、「この講座に期待すること」や「今、思っていること」など講座に直接関係するものもあれば、「お昼ご飯は」とか「好きな食べ物」「好きな著名人」などもあります。ここに記入した内容をもとに、自己紹介をしました。「『今のなやみ』は、今日の晩ご飯のメニューです。」という発言に対し、それぞれこだわりの食事や料理方法なども飛び出して、和気あいあいとした時間になりました。

「9マス紹介」の中の課題は、話し合いの目当てに合わせて準備したり、参加者同士で相談させたりできることも学びました。



2. 事業紹介…「9マス紹介」

次に、アイスブレイクで使った「9マス紹介」をアレンジして、それぞれ所属する公民館の事業を紹介し合いました。参加対象や講師など具体的な事業の様子や、うまくいっていることや困っていることがどんどん紹介されました。その発表に対し、他の受講者からは、事業の具体的な様子についての質問や「私のところでは…」といったアドバイスなども紹介され、大変盛り上がりました。



3. 公民館を見直す…「マンダラート」

「マンダラート」は、初めに9×9のマスの中央に書かれた課題について、関連あることを周りに8つ書きます。次に8つ書いたものそれぞれについて、さらに8つずつの関連事項を書く手法です。こうすることにより、中央の課題についての知識や思いが整理され、視覚化することができます。また、遠くのマスにも関連事項が見つかり、視野が広がる利点もあります。個人で行うこともグループで行うこともできます。今回は1枚

の大きな用紙に2層を記入しましたが、3×3のマスの用紙を複数枚使う方法や、さらに何層も積み重ねていく方法もあるようです。プロ野球の大谷翔平選手が、高校時代に作ったものが有名です。

後半の始まりは、この技法を使いながら、「公民館」について自分たちが知っている、考えている、悩んでいることを整理しました。同じ公民館と言いながらも、市町村によって仕組みや立場が違うことに気づいたり、地域との関わり方のヒントを得たりすることもできました。



4. 事業を検討する…「ペイオフマトリクス」

「ペイオフマトリクス」は、2つの判断基準を軸として、たくさんのアイデアを絞り込んでいく手法です。ビジネスの場面では、例えば「費用の大小」と「市場規模の大小」などが2軸となるそうです。

演習の最後は、「『地域を活性化させる事業』を考える」課題に取り組みました。まず、これまでの情報交換で得たものや整理した情報を使って、各自、事業のアイデアを付箋に記入しました。そして、そのアイデアを紹介し合いながら、「実行の難易度」と「効果の大小」の2軸で分類して、貼っていきました。

単に絞り込むだけではなく、「簡単に実行できて効果が大きい事業」（写真では右上）を目指すために、アイデアを「組み合わせる」（例 防災事業＋運動会→町内対抗バケツリレー）、「分解する」などの視点で組み直すことや、次年度に向けた事業検討にも使えそうだ、などの気づきがあり、また、「自館では難しい事業も、他館では簡単なことがある。」ということに興味をもった受講者も多く見られました。



5. 受講者の感想

【他館の方と交流して気づいたことについて】

- どの地区も集客に苦労していることが確認できた。
- 大学との連携の講座に興味がある。

【ファシリテーションの技法について】

- 「9マス」のように話してもらいたいことを整理させるのはできるだけ使っていきたい。
- 「マンダラート」の技法を、公私ともに使ってみようと思った。
- 考え、相談、意見集約、改善へのヒントがたくさん学べました。ありがとうございました。

【その他】

- 地域や市町村で運営の仕方も様々であると知った。共通の悩みや、ならではの悩み、話題が尽きなかった。大変参考になりました。
- 他の地域の取組を知ることがとても参考になると思うので、そういう機会を作ってください。
- 今回のように、他の公民館と話す場面をもっと増やしてほしい。もっと時間がほしかった。
- 自分の地域にどうやって生かしていこうか…、と考えています。

次回「第3回 公民館パワーアップ講座」は、「生涯学習・社会教育関係職員研修講座 実務研修 社会教育編 第3回」との共催で、11月2日（木）に当センターで開催します。講師に シナプテック株式会社代表取締役・やまなしの翼プロジェクト代表 戸田達昭氏をお迎えし、「マルチステークホルダーとの協働」について学びます。